

平成 28 年 1 月

本名に戻り松明の嫁が君  
俳句より衣装に腐心初句会  
別腹を溢れてしまひ雑煮餅  
このシャツに合ふ顔にせむ初鏡  
滑舌の不明瞭なる春の雷  
惜しまれず名残の雪と呼ばれるも  
カルシウム補給を睨む目刺かな  
蝌蚪の字は読めても書けぬ俳句歴  
首まはり測る女人も春のシャツ  
誰彼に見せたい春のオーダーシャツ